



なっとくんの

# なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

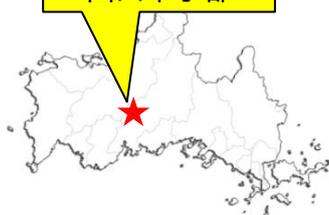
※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。



## 考古学と中郷遺跡

わたし 私たちがくらししている地面や地下には、昔の人々が作ったものや使ったものが埋まっていることがあります。そのような場所を遺跡と言います。遺跡を掘って、昔の人々が残したのから、そのころのくらしや地域のようすを調べる学問が考古学です。

やまぐちしおごおり  
山口市小郡



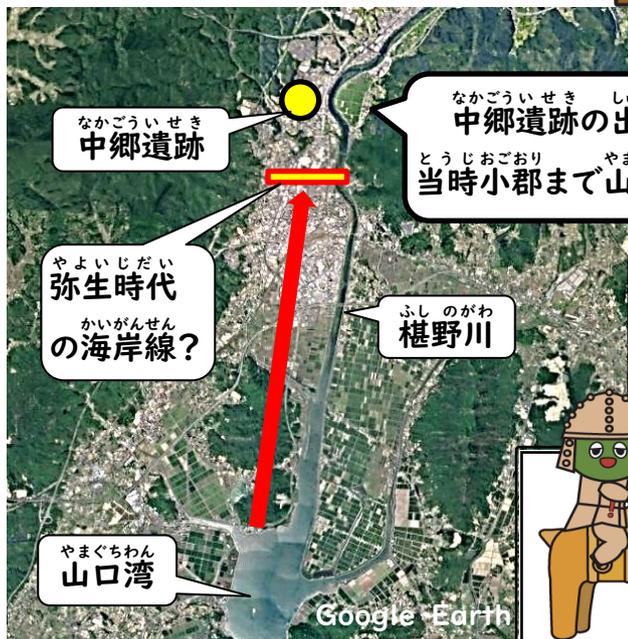
もじ 文字が使われていない時代の人々の生活のようすを、このような遺跡から出てきたものを手がかりに調査します。

ひだり 左の写真は、山口市小郡にある中郷八幡宮の境内にある中郷遺跡です。弥生時代の貝塚です。



山口博物館

なかごういせき 中郷遺跡からは、マガキ、ハイガイ、ハマグリなど9種類の貝がらや弥生時代の特徴を示す土器が出土しています。



なかごういせき  
中郷遺跡

やよいじだい  
弥生時代の  
海岸線？

なかごういせき 中郷遺跡の出土品から、遺跡近くに干潟が存在した可能性があり、当時小郡まで山口湾が深く侵入していたと考えられるそうです。

ふしのがわ  
榎野川

いせき 遺跡を細かく観察して他と比べたり、科学的に分析したり、さまざまな手段を使って歴史を明らかにしていくところに考古学のおもしろさがあります。

やまぐちわん  
山口湾

Google Earth



なかごういせき 中郷遺跡を築いた人々は、どのような生活をしていたのか、その出土品から考えてみよう！